

保育所園の入所園受け付け

63年1月5日～8日

入所(園)予定人数

年齢は63年4月1日現在

保育所(園)	3歳以上	3歳未満
蒲生	12	15
大袋	20	15
大相模	25	
乳児		40
桜井	25	
増林	20	15
大沢第一	33	
中央	45	
深田	25	
七左柳	25	
荻島	15	8
赤山	6	15
蒲生南	13	15
新方	8	15
大袋北	8	15
宮本	8	15
登戸	13	15
赤山第二	6	15
蒲生第三	10	15
越ヶ谷	12 (1・2歳児含む)	
あおい	25 (2歳児含む)	
おおたひるり山	30	
おおたひるり山	25	
おおたひるり山	18	
おおたひるり山	18	
		0・1・2歳児含む

*太線から下は私立の保育園

△日時 1月5日(火)～8日
(正午～午後1時を除く)△入所説明書・申請書は市役所
で提出しています。△会場 市役所5階第1会議
室 次の事情で保育に当たれない
場合△63年度の保育乳幼児を募集し
ます。入所説明書をよくお読み
になり、必要書類を添えてお申
し込みください。△入所基準
①母親の家庭外労働
②母親の家庭内労働(日常の
家事などは除く)
③母の妊娠、出産、病気、
心身障害△申込に必要なものなど詳
細なことは入所説明書に書いてあ
りますので、ご確認のうえ、添
付書類をそろえてお申し込みく
ださい。

△お渡ししています。

△保育課または各保育所(園)
へお渡ししています。△(金)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(土)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(日)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(月)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(火)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(水)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(木)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(金)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(土)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(日)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(月)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(火)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(水)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)△(木)午前9時～午後4時
(正午～午後1時を除く)



カナダのキチナ
一市から越谷ロ
ータリークラブ
の交換留学生と
して8月に来日

ダリル・ヒューズさん(カナダ)

「1年間、越谷にホームス
ティします。現在、西高に
通学中。2年生です。友達
に会うのがとても楽しみ。
西高で剣道、北高で体操ク
ラブにも入っています。先
輩後輩関係がきびしいのが
印象的です」。宮本町の大
野さん宅にホームステイ。
来年は越谷からカナダに交
換学生が行く。片言の日本
語でインタビューに答える。
17歳。

*

講じるよう要望
め、国に対し63
年度予算編成を
推進をかかるた
ちのもの。大会で
は事業の円滑な
運営を図るため、
全国街路事業
促進協議会など
6団体が主催し
たもの。大会で
開かれました。

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

まちのわだい

皆さん身近にある話題をお送
りください。写真とメモをつ
けて広報広聴課へ。



出品されたものは山東菜、ブ
ロッコリーなどの野菜のほか
に、シクラメンなどの鉢花、鶏
卵など、1440点あまり。ど
れも農家の人が丹精込めて育
てたものばかりです。出品物の
出来ばえに、会場を訪れた多数
の人々は、「どれもりいっぱいの野菜
が、市価より割安とあって飛び
ぱかり」とびっくり。会場には、

新鮮な野菜の即売所も設けら
れ、市価より割安とあって飛ぶ
ばかり」とびっくり。会場には、

所狭しと農産物が並べられた農業祭



りっぱな野菜が
たくさん

第17回越谷市農業祭

12月5日・6日、市立第一体育館で第17回農業祭が開かれま
した。

決議文を島村市長が
読み上げる

決議文を島村市長が読み上
げ、採択されました。

青少年健全育成の集い
大袋中学校ブロック

先立ち、特別発表として大袋東
小児童の器楽演奏、大袋中PT
Aのコーラス、大袋婦人会(大
林地区)の民謡が披露されまし
た。この集いを通して大袋地区
をあげて次代を担う青少年の健
やかな成長を願う輪を広めよ
うです。

なお、同集いは千間台中学校
ブロックでも11月15日に開か
れ、320名の方々が参加して
います。

青少年健全育成大袋中学校ブ
ロックの集いが11月29日、大袋
東小体育馆で行われました。全
くの武士が戦いに出た武士ですが、こ
れは、幌武者(ほろむし)や、つまり弓矢よ
りや、細長い竹竿を袋に入
れた布をよろいの背に何本もつ
けて戦いに出た武士ですが、こ
の武士が戦いに敗れ落ちのびて
きたとき、ここで幌をはずし幌
にくるまつて死んだというこ
とです。

蔵之助はこの幌武者の名や
い

ひの戦いであったか、記
録などをさがし求めましたが、記
とうとうわかりませんでした。
でもこれをあわに思い、ねん
さんにお養したところ、たたり
はなくなりました。この蔵之助
の十四代の孫である川鍋氏はこ
のいわれを後世に伝えるため、
嘉永七年(一八五四)改めて
幌墓を建てたということです。
この碑にはそのいわれとともに
蝶(ちょう)舞(ま)ゑ
靈慰(れいなぐさ)めんと塚
の上、幌武者の成仏(じよ
うぶつ)するや、初彼岸(はつ
ひがん)などとの句が記され
ています。これは今でもたいそ
うさましい所ですが、こうした
伝説はひとつ夢として大切に
残しておきたいものです。

11月15日、千間台西六丁目自治会
消防訓練に250名

自主防災組織

消防訓練を実施

</div

